

2022 年度事業報告案

1. 全般

2022 年度は学会内の部会、委員会、SIG 等の活動が活発化し、多くの成果が生まれた。その中で幾つか特筆すべき事項をあげたい。

法制度部会では、デジタルアーカイブの利用促進・発展を可能にする制度的・社会的環境を醸成するため、政策関係者に向けた政策提言と社会各層に向けたデジタルアーカイブ憲章の制定を目指して精力的な検討を進め、政策提言は 9 月に理事会採択し、同時期に進められていたデジタルアーカイブ推進コンソーシアム (DAPCON) の政策提言と歩調を合わせ、産学連携の成果として政策関係者へ提言を手交した。また憲章については、円卓会議 3 回、シンポジウム 1 回、パブリックコメント等社会各層からの意見を幅広く取り込み、成案をまとめる段階まで進むことができた。

また、産業とデータ・コンテンツ部会では、デジタルアーカイブ産業のシーズを見つけることを目的に、DA ショートトークを 5 月に開設し、毎月 5~6 本のペースでデジタルアーカイブとその関連領域の様々な知見を持った発表を続けている。その記録はユーチューブで公開されており、学会としても今後貴重なコンテンツとなるだろう。

その他、地域アーカイブ部会もシリーズ研究会を始めるなど、学会内での大変活発な活動があった。SIG 理論研究会では、それまでの検討成果のひとつとして『デジタル時代のアーカイブ系譜学』を 12 月に上梓した。それはまさに学会活動の中から生まれたものであった。

2. 役員等

2.1 役員 (2021~2022 年度) (所属は 2022 年度末)

会長 吉見 俊哉 (東京大学大学院情報学環 教授)

顧問

後藤 忠彦 (岐阜女子大学 元学長)

佐々木 正峰 (元文化庁長官)

高山 正也 (元国立公文書館長)

御厨 貴 (東京大学名誉教授)

理事

荒木 純隆 (長野県企画振興部 DX 推進課デジタルインフラ整備室 担当係長)

生貝 直人 (一橋大学 准教授)

井上 透 (岐阜女子大学文化創造学部 教授)

今村 文彦 (東北大学災害科学国際研究所 所長・教授)

大向 一輝 (東京大学准教授)

加藤 諭 (東北大学准教授)

北本 朝展 (ROIS-DS 人文学オープンデータ共同利用センター センター長/国立情報学研究所 教授)

黒橋 禎夫 (京都大学大学院情報学研究科 教授)

坂井 知志 (日本デジタル・アーキビスト資格認定機構理)

柴野 京子 (上智大学 教授)

杉本 重雄 (筑波大学 名誉教授)

平良 斗星 (公益財団法人みらいファンド沖縄 副代表理事)

高野 明彦 (国立情報学研究所 教授)

谷川 智洋 (東京大学特任教授)

時実 象一 (東京大学大学院情報学環 高等客員研究員)

林 和弘 (文部科学省科学技術・学術政策研究所 上席研究員)

原田 隆史 (同志社大学大学院総合政策科学研究科 教授)

東 由美子 (国際ファッション専門職大学 教授)

細井 浩一 (立命館大学映像学部 教授・アート・リサーチセンター長)

福井 健策 (弁護士・日本大学芸術学部客員教授)

福島 幸宏 (慶應義塾大学 准教授)

藤田 高夫 (関西大学 教授)

水島 久光 (東海大学文学部 教授)

宮本 聖二 (立教大学 教授)

柳 与志夫 (東京大学大学院情報学環 特任教授)
山川 道子 ((株)プロダクション・アイジーアーカイブチームリーダー)
吉川 晃 (国土館審議役)
渡邊 英徳 (東京大学大学院情報学環 教授)

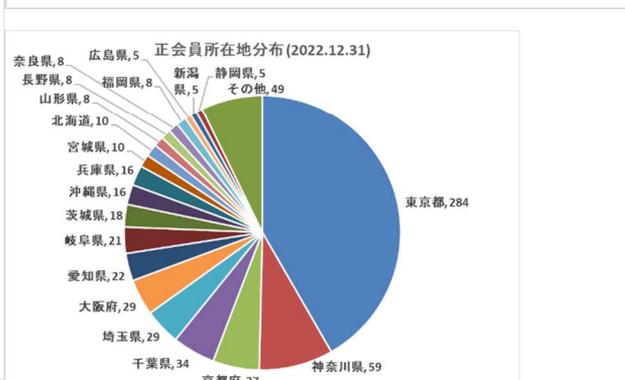
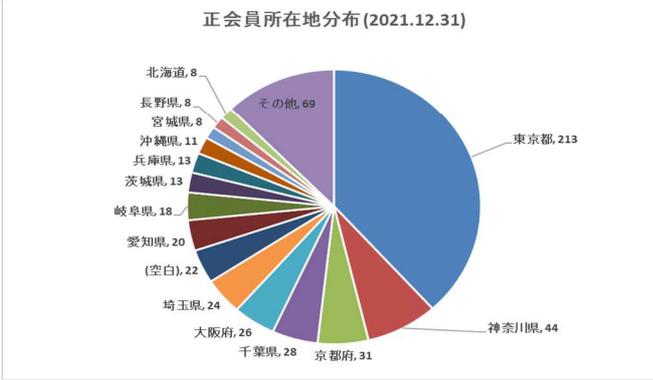
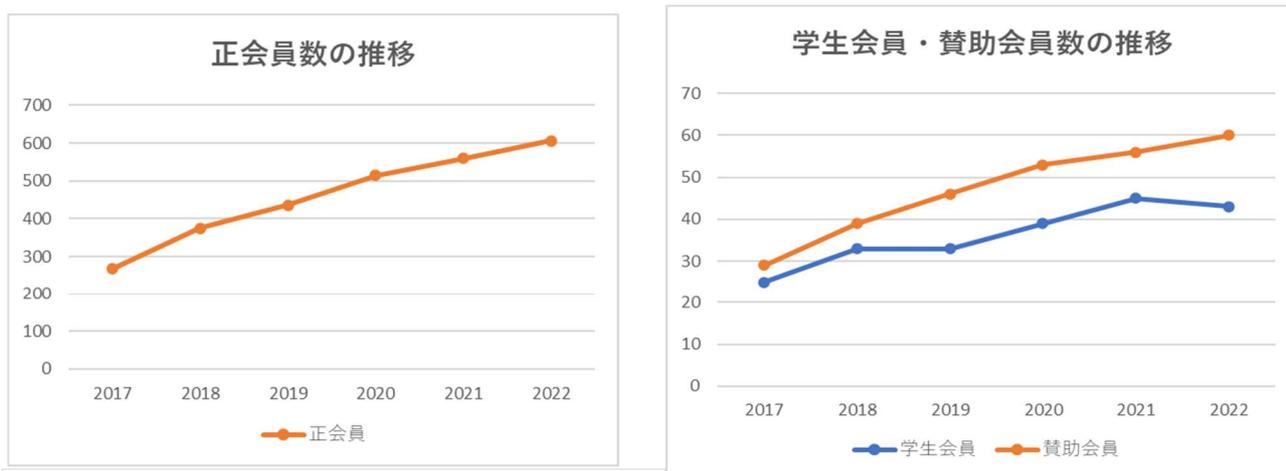
監事

後藤 真 (国立歴史民俗博物館 准教授)
小村 愛美 (大阪大学附属図書館)

2.2 評議員 (2022 年 3 月 31 日現在)

青木 敬士 (日本大学 芸術学部文芸学科 教授)
赤松 健 (漫画家、日本漫画家協会常務理事)
浅野 隆夫 (札幌市中央図書館 図書・情報館 担当係長)
安藤 久夫 (NPO 法人日本アーカイブ協会 理事)
石川 敬史 (十文字学園女子大学准教授)
伊勢 博 ((株)アーキネット 代表取締役)
内田 朋子 (共同通信社編集局ニュースセンター校閲部委員)
大久保 ゆう (本の未来基金 運営委員)
太下 義之 (三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング 芸術・文化政策センター長)
大西 亘 (神奈川県立生命の星・地球博物館 学芸員)
緒方 靖弘 (寺田倉庫(株)執行役員)
岡室 美奈子 (早稲田大学 坪内逍遙記念演劇博物館 館長)
久世 均 (岐阜女子大学 教授)
糸川 麻里生 (慶応義塾大学文学部教授)
齋藤 義朗 (長崎県 文化観光国際部文化振興課 主任学芸員)
齊藤 有里加 (東京農工大学科学博物館特任助教)
坂田 邦子 (東北大学大学院情報科学研究科講師)
佐久間 大輔 (大阪市立自然史博物館学芸課長)
塩 雅之 (常磐大学教授)
城田 晴栄 ((株)ループホール社長・弁理士)
数藤 雅彦 (五常総合法律事務所 弁護士)
砂川 浩慶 (立教大学社会学部メディア社会学科 教授)
谷 里佐 (岐阜女子大学 教授)
田山 健二 (TRC-ADEAC(株)会長)
田良島 哲 (東京国立博物館 博物館情報課)
筒井 弥生 (アーキビスト)
長丁 光則 (デジタルアーカイブ推進コンソーシアム事務局長)
仲野 寛 (島根大学 教育・学生支援機構生涯教育推進センター 教授)
原田 悦志 ((株)日本国際放送/NHK 国際放送局付 チーフプロデューサー)
藤森 純 (弁護士)
細矢 剛 (国立科学博物館、植物研究部 グループ長)
前川 道博 (長野大学 企業情報学部 教授)
真喜屋 力 (沖縄アーカイブ研究所)
又吉 斎 (沖縄女子短期大学 講師)
町 英朋 (常磐大学 総合政策学部総合政策学科 准教授)
松岡 資明
松山 ひとみ (大阪中之島美術館準備室アーキビスト)
真鍋 真 (国立科学博物館 標本資料センター コレクションディレクター)
皆川 雅章 (札幌学院大学 教授)
三宅 茜巳 (岐阜女子大学 大学院文化創造学研究科長 教授)
山崎 博樹 (知的資源イニシアティブ)
山下 ユミ (京都府立図書館司書)
油谷 暁 (奈良先端科学技術大学院大学 総合情報基盤センター 助教)

3. 会員 (2022/12/31 現在) (2023/1/1 以降の入会は 2023 年度会員とみなす)



種別		2017 年度会 員	2018 年度会 員	2019 年度会 員	2020 年度会 員	2021 年度会 員	2022 年度入 会	2022 年度退 会	2022 年度会 員	2023 年度退 会予定
正会員	全期	249	352	413	488	537	66	55	571	8
	半期	19	23	23	26	23	35		35	
	合計	268	375	436	514	560	101	55	606	8
学生会員		25	33	33	39	45	9	11	43	
賛助会員		29	39	46	53	56	5	1	60	1
合計		322	447	515	606	661	115	67	709	9

4. 第 4 回学会賞

[選考委員会]

青柳正規 (東京大学名誉教授・デジタルアーカイブ推進コンソーシアム会長)

北本朝展 (国立情報学研究所教授：作業部会長)

御厨 貴 (東京大学名誉教授)

吉羽 治 (講談社取締役 (IT 戦略企画室))

吉見俊哉 (東京大学情報学環教授・デジタルアーカイブ学会会長：委員長)

会議名	日時	場所	議題
選考委員会	2022/11/8 (火) 13:30-14:15	オンライン	1. 作業部会報告 2. 各賞の選考について

【作業部会】

生貝直人（理事、法制度部会副会長）、井上 透（理事、人材養成委員会委員長）、緒方靖弘（評議員、デジタルアーカイブ推進コンソーシアム事務局長）、嘉村哲郎、亀田亮宙、北本朝展（理事、選考委員会作業部会長）、坂井知志（理事）、齊藤有里加（評議員）、柴野京子（理事、産業とデータ・コンテンツ部会副会長）、時実象一（理事、事務局担当・学会誌副編集長）、永崎研宣、福島幸宏（理事、学会賞担当・定例研究会担当）、松山ひとみ（評議員）、宮本聖二（理事、地域アーカイブ部会部会長）、柳与志夫（理事、総務担当）

会議名	日時	場所	議題
第 1 回作業部会	2022/8/3 (木) 14:00-15:10	オンライン	1. 作業部会員の退任・新任について 2. 選考委員会の構成と今年度の選考過程について 3. 規程案について 4. その他
第 2 回作業部会	2022/10/14 (金) 16:00-17:50	オンライン	1. 学会賞候補について 2. その他
第 3 回作業部会	2022/10/24 (月) 13:00-14:00	オンライン	1. 選考に関する議論 2. 学会賞候補について 3. その他

【第 4 回学会賞受賞者】・発表と授与: 2022 年 11 月 25 日 (デジタルアーカイブ学会第 7 回研究大会にて)

●受賞者

(1) 功労賞

該当なし

(2) 実践賞

本間淳 (フェリックス・スタイル)

早稲田大学坪内博士記念演劇博物館

岡山県立図書館

渡邊英徳 (東京大学) ・古橋大地 (青山学院大学) など関係者一同

鹿野雄一 (九州大学)

(3) 学術賞 (研究論文)

「不正義の景観」デジタルアーカイブにおける日系カナダ人家族の記憶. 稲葉あや香.

デジタルアーカイブ学会誌. 2022, 6(2), e11-e15.

(4) 学術賞 (著書)

人文学のためのテキストデータ構築入門: TEI ガイドラインに準拠した取り組みにむけて 一般財団法人
人文情報学研究所 (監修), 石田友梨, 大向一輝, 小風綾乃, 永崎研宣, 宮川創, 渡邊要一郎 (編)

文学通信. 2022.

自然史・理工系研究データの活用 (デジタルアーカイブ・ベーシックス 3) . 井上透 (監修), 中村覚 (責任編集) 勉誠出版. 2020.

メディアとアーカイブ 地域でつくる・地域をつくる 松本恭幸 (編) 大月書店. 2022.

(4) 学術賞 (基盤・システム)

文化財総覧 WebGIS 奈良文化財研究所企画調整部文化財情報研究室

NDL Ngram Viewer 国立国会図書館

IIIF Curation Platform 北本朝展 (ROIS-DS 人文学オープンデータ共同利用センター)、本間淳 (フェリックス・スタイル)、Tarek Saier (Karlsruhe Institute of Technology)

みを (miwo) : AI くずし字認識アプリ カラーズワット・タリン (Google Research)、北本朝展 (ROIS-DS 人文学オープンデータ共同利用センター)

教科書 LOD 江草由佳・高久雅生ほか教科書 LOD プロジェクト

5. 第 7 回研究大会

・協賛: デジタルアーカイブ推進コンソーシアム (DAPCON)

・後援: アート・ドキュメンテーション学会、記録管理学会、情報知識学会、情報メディア学会、東京文化資源会議、日本アーカイブズ学会、日本出版学会、日本デジタル・ヒューマニティーズ学会、文化資源学会、

本の未来基金

●2022 年 11 月 25 日(金)

- ・日時: 2022 年 11 月 25 日(金)
- ・会場: 琉球大学千原キャンパス
- ・参加申込者数: 129 名(一般研究発表・全体会議)
- ・チュートリアル(10:00～11:45)(琉球大学 50 周年記念館)
 - チュートリアル 1. デジタルアーカイブの公開技術 (IIIF と Omeka を中心に)
 - チュートリアル 2. メタデータ: 戦争関連資料
 - チュートリアル 3. デジタルアーカイブの法と権利
- ・一般研究発表(12 件)
- ・全体会議
 - 開会あいさつ
 - 基調講演「沖縄を学びなおす ――デジタルアーカイブに何ができるか」吉見 俊哉氏(デジタルアーカイブ学会会長、東京大学教授)
 - 討論 新城郁夫氏(琉球大学人文社会学部 琉球アジア文化学科 教授)
 - デジタルアーカイブ学会第 4 回学会賞授与式(学会賞選考委員会作業部会長 北本 朝展)
- ・懇親会(琉球大学 50 周年記念館)

●2022 年 11 月 26 日(土)

- ・企画セッション(分散会場)
 - セッション 1 「. 文脈」を伝える――アジア・アフリカをアーカイブするための方法的探究(沖縄県立図書館)
 - セッション 2.(沖縄発)形あるもの、沖縄の歴史の DA 化(沖縄県立美術館・博物館)
 - セッション 3.(沖縄発)戦後文書資料の保存と活用(沖縄県公文書館)
 - セッション 4. デジタルアーカイブ憲章円卓会議 in 沖縄(琉球大学 50 周年記念館)
 - セッション 5.(沖縄発)メディアのコンテンツとデジタルアーカイブ(沖縄県立図書館)
 - セッション 6.(沖縄発)残りにくい文化をどうするか―沖縄芝居を中心に(沖縄県立美術館・博物館)
 - セッション 7. DX 化する社会とデジタル公共文書(沖縄県公文書館)
 - セッション 8.(沖縄発)自治体のアーカイブ活用(琉球大学 50 周年記念館)

●2021 年 11 月 27 日(日)

- ・エクスカージョン(オブション)
 - 北コース: 那覇発→宜野湾(嘉数台)→嘉手納基地→コザ→恩納村→辺野古→キャンプハンセン→空港
 - 南コース: 那覇発→ひめゆり平和祈念資料館→沖縄県営平和祈念公園・資料館→南風原文化センター・沖縄陸軍病院壕→旧海軍司令部壕→空港
 - 首里コース: (街歩き)

●サテライト企画セッション

- セッション 1: デジタル時代のアーカイブの系譜学(2022/11/13(日))
- セッション 2: 知識インフラの再設計に向けて(2022/11/14(月))
- セッション 3: デジタルアーキビストを考える(2022/11/20(日))
- セッション 4. 琉球文化のテキストアーカイビング(2022/11/23(水))
- セッション 5: 多様な担い手たちによる地域資料継承セッション: 急変する社会における地域資料継承の“これから”を考える(2022/11/24(木))
- セッション 6: ビヨンドブック・プロジェクト: 第 2 ステージに向けて(2022/11/28(月))
- セッション 7. 分散型の情報基盤技術を用いた DA 活用と展望(2022/12/1(木))

6. DA フォーラム

(1) 第 2 回 DA フォーラム

- ・日時: 2022 年 6 月 26 日(日) 13:00～18:00
- ・発表者数: 18 件(学会誌 6 巻 S2 号に予稿掲載)
- ・参加申込者数: 217 名
- ・実参加者数: 142 名(ピーク時)

発表終了後 oVice を用いて交流会を実施した

7. シンポジウム

(1) 第 1 回「デジタルアーカイブ憲章をみんなで創る円卓会議」

- ・日時: 2022 年 8 月 3 日(水) 18:00 ~ 20:30
- ・形式: オンライン開催、YouTube 同時・アーカイブ配信
- ・プログラム:
 - 本会議の趣旨と進行: 数藤雅彦 (司会、弁護士、法制度部会副部長)
 - 憲章で実現したいこと: 吉見俊哉 (東京大学教授、本学会会長)
 - デジタルアーカイブ憲章 (案) の概要: 福井健策 (弁護士、法制度部会長)
 - 登壇者から憲章案へのコメント
 - ラウンドテーブル
 - 視聴者からの質問・意見
- ・登壇者
 - 石橋映里 (一般社団法人日本脚本アーカイブズ推進コンソーシアム常務理事)
 - 生貝直人 (一橋大学准教授)
 - 井上透 (岐阜女子大学教授)
 - 植野淳子 (株式会社アーイメージ代表取締役、一般社団法人 日本動画協会『アニメ NEXT_100』プロジェクト事務局長)
 - 大西亘 (神奈川県立生命の星・地球博物館 動物・植物グループ主任学芸員)
 - 岡本真 (アカデミック・リソース・ガイド株式会社代表取締役)
 - 川口雅子 (国立アトリサーチセンター (仮称) 設置準備室 情報資料グループリーダー (学芸担当課長))
 - 五味大輔 (株式会社 IMAGICA GROUP グループ事業戦略推進部 副部長)
 - 重田勝介 (北海道大学情報基盤センター准教授)
 - ルドン・ジョゼフ (NPO 法人ゲーム保存協会理事長)
 - 数藤雅彦 (弁護士)
 - 田中茂明 (内閣府知的財産戦略推進事務局長)
 - 徳原直子 (国立国会図書館電子情報部主任司書)
 - 福井健策 (弁護士)
 - 三浦文夫 (関西大学教授、一般社団法人アーティストコモンズ理事長)
 - 吉見俊哉 (東京大学教授)
- ・参加申込者数: 249 名
- ・実参加者数: Zoom 104 名、YouTube 97 名
- ・アーカイブ視聴 (YouTube): 468 名

(2) 第 2 回「デジタルアーカイブ憲章をみんなで創る円卓会議」

- ・日時: 2022 年 10 月 11 日(火) 18:00 ~ 20:30
- ・形式: オンライン開催、YouTube アーカイブ配信
- ・プログラム:
 - 本会議の趣旨と進行: 数藤雅彦 (事務局、法制度部会副部長、弁護士)
 - デジタルアーカイブ憲章 (案) の概要: 生貝直人 (法制度部会副部長、一橋大学教授)
 - ラウンドテーブル
- 視聴者からの質問・意見
- ・登壇者
 - 赤松健 (参議院議員、漫画家)
 - 池内有為 (文教大学文学部英米語英米文学科准教授)
 - 生貝直人 (一橋大学大学院法学研究科教授)
 - 石多未知行 (空間デザイナー、プロジェクトンマッピング協会代表理事)
 - 江上敏哲 (国際日本文化研究センター情報管理施設 (図書館) 司書)
 - 大井将生 (東京大学大学院情報学環特任研究員、TRC-ADEAC 特任研究員)
 - 大久保ゆう (青空文庫、本の未来基金)
 - 緒方靖弘 (寺田倉庫株式会社アーカイブ事業担当執行役員、デジタルアーカイブ推進コンソーシアム事務局長)
 - 齊藤有里加 (東京農工大科学博物館特任助教)

持家学（ゲッティイメージズジャパン株式会社）
宍戸常寿（東京大学大学院法学政治学研究科教授）※ 録画映像での出演
数藤雅彦（弁護士）
高野明彦（国立情報学研究所名誉教授）：ラウンドテーブル司会
本間友（慶應義塾ミュージアム・commons専任講師）

- ・参加申込者数:249 名
- ・実参加者数: Zoom 104 名、YouTube

(3) 第 3 回「デジタルアーカイブ憲章をみんなで創る円卓会議 in 沖縄」

- ・日時: 2022 年 11 月 26 日(土) 10:00 ~ 12:00
- ・場所: 琉球大学 50 周年記念館・多目的室 Zooms 同時配信
- ・参加申込者: 24 名
- ・プログラム:
 - 挨拶: 吉見俊哉（東京大学大学院教授、デジタルアーカイブ学会会長）
 - 本会議の趣旨と進行: 福井健策（弁護士、デジタルアーカイブ学会法制度部会長）
 - デジタルアーカイブ憲章（案）の概要:
 - ラウンドテーブル
 - 参加者からの質問・意見
- ・登壇者
 - 太下義之（文化政策研究者、同志社大学教授）
 - 加藤 諭（東北大学学術資源研究公開センター准教授）
 - 呉屋美奈子（恩納村文化情報センター係長、沖縄国際大学非常勤講師）
 - 平良斗星（公益財団法人みらいファンド沖縄副代表理事、沖縄デジタルアーカイブ協議会運営委員）
 - 田村卓也（南城市教育委員会デジタルアーカイブ専門員）
 - 徳原直子
 - 平田大一（沖縄文化芸術振興アドバイザー、演出家、脚本家、南島詩人）
 - 福井健策：司会
 - 三好佐智子（EPAD2022 事務局長、有限会社 quinada 代表取締役社長）
 - 柳与志夫（東京大学大学院特任教授）
 - 八巻真哉（沖縄アーツカウンシル（（公財）沖縄県文化振興会）プログラムオフィサー）
- ・参加申込者数:249 名
- ・実参加者数: Zoom 104 名、YouTube 97 名
- ・アーカイブ視聴 (YouTube): 468 名

(4) デジタルアーカイブ憲章 みんなで創る総括シンポジウム

- ・日時: 2023 年 3 月 14 日(火) 19:00 ~ 21:00
- ・場所: 御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター (YouTube 配信・アーカイブ配信あり)
- ・プログラム:
 - ・挨拶: 吉見俊哉（デジタルアーカイブ学会会長）
 - ・本会議の趣旨と基調報告: 福井健策（弁護士、デジタルアーカイブ学会法制度部会長）
 - 「デジタルアーカイブ憲章案について」（憲章案、論点整理）
 - ・ラウンドテーブル「デジタルアーカイブの哲学を社会に実装する」
 - ・参加者からの質問・意見
- ・登壇者（五十音順）
 - ・赤松 健（漫画家・参議院議員）
 - ・宍戸 常寿（東京大学大学院法学政治学研究科教授）
 - ・野口 祐子（弁護士・クリエイティブ・commons・ジャパン（特定非営利活動法人 commonsフィア）理事）
 - ・平田オリザ（劇作家・芸術文化観光専門職大学学長）
 - ・福井健策（弁護士）：司会
 - ・宮沢和史（シンガーソングライター）
- ・参加申込者数:128 名、YouTube 配信申込 132 名

- ・アーカイブ視聴 (YouTube) も実施

8. デジタルアーカイブ学会誌

8.1 発行状況

下記のとおり発行するとともに、冊子体については約 1.5 月遅れで J-STAGE に掲載・公開した。

巻号	発行日	本文ページ数	広告数	発行部数	J-STAGE 公開日	備考
第 6 巻第 s1 号	2022/5/6	50p. (s1-s48)	0	1050	2022/7/4	長尾前会長追悼号
第 6 巻第 2 号	2022/5/6	66p. (73-116) (e11-e20)	3	830	2021/4/23	
第 6 巻第 s2 号		70p. (s1-s122)	0	J-STAGE オンラインのみ	2022/6/13	第 1 回 DA フォーラム予稿集号
第 6 巻第 3 号	2022/8/1	40p. (117-150) (s21-s24)	3	840	2022/10/5	
第 6 巻第 4 号	2022/11/1	40p. (151-186)	4	880	2023/1/5	
第 6 巻第 s3 号		127p. (s123-s194)	0	J-STAGE オンラインのみ	2022/11/2	第 1 回 DA フォーラム予稿集号
第 7 巻第 1 号	2023/2/1	56p. (1-41)(s1-s9)	6	880	2023/3/18	

8.2 論文投稿状況 (2022 年度)

投稿番号	投稿日	種別(1)	種別(2)	採録された論文タイトル	掲載巻号ページ
2022-01-F	2022/3/11	ショートペーパー	実践論文	デジタルアーカイブをととした地域史資料の収集と活用：沖縄県南城市の事例から	6巻3号 e21-e24
2022-02-F	2022/4/18	フルペーパー	研究論文	デジタルアーカイブを活用したキュレーション学習モデル：探究学習における「問い」と「資料」の接続	7巻1号 e1-e9
2022-03-F	2022/6/10	フルペーパー	実践論文	不採録	
2022-04-F	2022/8/10	フルペーパー	実践論文	不採録	
2022-05-F	2022/9/14	フルペーパー	研究論文	大学の授業で試みた電子教科書のバンドル型ライセンスモデル：大学と出版社のエコシステムを目指して	7巻2号 e11-e17
2022-06-F	2022/10/17	フルペーパー	実践論文	デジタルアーカイブにおける資料の活用を促進する二次利用条件表示のあり方	未定
2022-07-S	2022/1/17	ショートペーパー	実践論文	阪神・淡路大震災映像への肖像権ガイドライン適用の実践	未定
2022-09-F	2022/12/20	フルペーパー	実践論文	公共図書館におけるデジタルアーカイブの事例報告と分析	未定
2023-01-F	2023/2/13	フルペーパー	研究論文	審査中	
2022-02-F	2023/3/20	フルペーパー	研究論文	不採録	
2023-03-F	2023/3/23	フルペーパー	研究論文	審査中	

9. デジタルアーカイブ・ベーシックス

新シリーズとして、勉強出版より、以下のとおり刊行した。

タイトル	著者	ISBN	発売日	ページ数
知識インフラの再設計	数藤雅彦 責任編集	978-4-585-30301-5	2022/11/30	248p

10. 会議開催状況

10.1 総会

(1) 2022 年度通常総会（議決権行使）

デジタルアーカイブ学会規約第 19 条～21 条に従って会員の議決権行使をお願いした結果、下記の結果となった。

- 実施期間: 2022/6/13～ 2022/6/24
- 対象会員数 (2021/6/3 現在) 正会員 559 名、学生会員 44 名、賛助会員 57 名、合計 660 名
- 議決権行使数 234 名、うち重複 19 件を除き、有効 215 件（メールでの議決権行使 1 件含む）。なお期日までに議決権行使しなかった会員 445 名については各議案について賛成とみなした

【決議事項】

- 第 1 号議案 2021 年度財務諸表等の承認
 - 1-1. 2021 年度事業報告 [資料-1]
 - 1-2. 2021 年度財務諸表等 [資料-2]
 - 1-3. 2021 年度監査報告書 [資料-3]

議決結果

承認 660 (議決権非行使会員数 445 名を含む) 非承認 0

第 1 号議案の承認数は、行使された議決権の過半数を上回り、承認された。

●第 2 号議案 役員を選任

2022 年度理事に平良斗星氏 (公益財団法人みらいファンド沖縄副代表理事) を選任する。

議決結果

承認 659 (議決権非行使会員数 445 名を含む) 非承認 1

第 2 号議案の承認数は、行使された議決権の過半数を上回り、承認された。

●第 3 号議案 長尾真名誉会長および顧問の選任を解除する (ご逝去のため)

議決結果

承認 660 (議決権非行使会員数 445 名を含む) 非承認 0

第 3 号議案の承認数は、行使された議決権の過半数を上回り、承認された。

10.2 理事会

(1) 第 1 回理事会

- ・日時：2022 年 5 月 30 日 (月) 16:00～17:45
- ・形式：Zoom 開催
- ・出席：(五十音順)

吉見(会長)

理事：荒木、生貝、井上、加藤、北本、黒橋、柴野、谷川、時実、原田、林、東、細井、福島、藤田、水島、宮本、柳、山川、吉川、渡邊、計 22 名

監事：後藤

オブザーバ：緒方、真喜屋

- ・議題

[承認事項]

(1) 2022 年度通信総会 (議決権行使) と学会員ウェブ懇談会の実施 (資料 1)

時実事務局担当理事が資料に基づいて実施案を提案した。6 月 13 日議決権行使開始、6 月 24 日締切である。提案が承認された。

(2) 2021 年度事業報告案 (資料 2)

時実理事が内容を説明した。報告案は承認された。

(3) 2021 年度決算案 (資料 3)

柴野財務担当理事から「正味財産増減表」と「貸借対照表」について説明があつた。収益については、会費収入は対予算で大きな変動はなかった。学会誌収入については広告収入が大きく増加した。研究大会についてはコロナ感染の影響により参加費が大幅に減少しているが、支出も少なかったため、結果バランスはとれている。学会誌についてはページ数の増加により対予算で増加している。研究会については沖縄円卓会議を実施した費用が増加したが、総務担当理事の承諾を得ている。今回「回収不能会費」を「雑損」から分離してわかりやすくした。貸借対照表については正味財産計 2,654,330 円が正味財産増減表のそれと一致している。

次に後藤監事より、5 月 28 日におこなった監査結果の報告があつた。問題なく履行されている。監事の意見としては、固定費が予算を越えている部分 (通信費) があつたので次年度予算で修正が必要。未収会費について除籍のルールを厳密に適用することが好ましい。また、帳簿上のミスが散見されるのでチェック体制を強化してほしい (対理事会のみ) との指摘があつた。

決算案と監査結果は承認された。

(4) その他総会承認事項

平良斗星氏 (公益財団法人みらいファンド沖縄副代表理事) を理事として追加することと、長尾先生の顧問・名誉会長からの選任解除について総会に提案することとした。

(5) 2022 年度事業計画案 (資料 4)

柳総務担当理事から修正事業計画案の説明があり、承認された。

(6) 入退会承認願 (資料 5)

時実理事より、説明があり、入退会が承認された。

[報告事項]

(1) 第 7 回研究大会 (沖縄) 準備状況 (資料 6)

真喜屋実行委員長から説明があつた。11 月 25 日の全体会は琉球大学大講堂で実施できる見通しである。チ

ュートリアルは沖縄のアーキビストを対象としたものを考えている。企画セッションは現在 9 件の提案があり、うち 5 件が沖縄現地開催希望 (11 月 26 日) であるので、今後調整する。未定となっている分散会場は沖縄タイムスで調整中である。ツアーは内容検討中。

(2) 第 2 回 DA フォーラム準備状況 (資料 7)

藤田運営委員長から報告があった。発表者は 18 名、3 セッションで実施する。発表後に oVice というツールを使ったオンライン交流会を実施する予定。

(3) DA 憲章及び政策提言への今後の取組方法について (資料 8)

吉見会長から説明があった。政策提言は国の省庁、自治体、政治家などに向けたもの、憲章は一般国民、関連学会、教員などを対象としている。したがって進め方も異なる。政策提言は臨時検討委員会を設置して実質的な議論を進めている。憲章は広い方が加わる場をつくり、運動を起こしていくものと考えている。

柳理事から政策提言臨時検討委員会の説明があった。9 月には仕上げたい。DAPCON も産業界からの政策提言をまとめようとしている。

(4) 産業とデータ・コンテンツ部会第 1 回 DA ショートトークの開催 (5/30) (資料 9)

黒橋部会長から説明があった。本日 5/30 日に第 1 回開催し、参加者 50 名くらい。

(5) その他

長尾前会長追悼特集号が発行され、京大で行われた「お別れの会」で配布した。J-STAGE でも公開されている。

(2) 第 2 回理事会

・日時：2022 年 9 月 16 日 (金) 10:00~12:00

・形式：Zoom 開催

・出席：(五十音順)

吉見(会長)

理事：荒木、生貝、今村、大向、北本、黒橋、坂井、柴野、杉本、谷川、時実、細井、福井、水島、宮本、柳、山川、吉川、計 16 名

監事：欠席

オブザーバ：緒方、真喜屋、数藤

・議題

(研究会実施について)

第 7 回研究会のプログラムにつき、会場の都合で全体会議 (基調講演、学会賞授与等) と一般研究発表の順序を入れ替えることが検討され、会長一任とされた (その後入れ替えることに決定)。

[承認事項]

(1) 2022 年度予算修正案の承認 (資料-01)

柴野財務担当理事から説明があった。研究会関係は収入、支出とも減少する。学会誌発行費用については、長尾前会長追悼特集号の発行により、1 号分追加となったための増額。また監事の指摘に従い、通信費と回収不能会費を計上したため、支出増額となった。修正案は承認された。

(2) 会員入退会の承認 (資料-02)

時実理事から説明があり、承認された。

(3) 学会誌編集委員会委員の追加 (資料-03)

杉本編集委員長から田良島哲 (東京国立博物館 特任研究員)、齊藤有里加 (東京農工大学科学博物館 特任助教) 両氏を追加することが提案され、承認された。

(4) 学会賞規程の制定及び学会学術賞 (基盤・システム) の新設 (資料-04, 05)

北本作業部会長から説明があり、学術賞 (基盤・システム) の新設を含め承認された。

(6) 政策提言案について (資料-06)

福井理事から提言案に沿って説明があった。

この提言は、会長名で関係先に配布するが、それに先立って、各省担当者や議員に説明をおこなう。あわせて学会員にも告知する。DAPCON が作成中の政策提言と連携して進める。

若干の文言修正をおこなって承認された。

(7) 学会関連資料 (各部会文書、発表資料等) の保存・活用の在り方 (資料-07)

時実事務局担当理事から現状を説明した。事務局負担軽減の方法を含め WG を設置して検討することとした。

(8) デジタルアーカイブ学会個人情報保護方針 改訂案 (資料-08)

福井理事より改定案の説明があった。実態に合わせてやや精緻にする。了承された。

[報告事項]

(1) 2022 年度通常総会報告 (資料-09)

時実理事から報告があった。

(2) 肖像権ガイドラインの普及状況 (資料-11)

数藤オブザーバから報告があった。

(3) 第 2 回 DA フォーラムの開催 (2022/6/26) (資料-12)

藤田委員長が欠席のため、時実理事から報告があった。

(4) 会員ウェブ懇談会の開催 (2022/7/5) (資料-12)

時実理事から報告があった。

(5) 第 1 回デジタルアーカイブ憲章円卓会議の開催 (2022/8/3)

福井理事から報告があった。多彩な登壇者があり、約 800 名の視聴があった。第 2 回は 10 月 11 日にオンライン開催する。第 3 回は沖縄で実施の予定。

(6) 第 1 回 DA と大学研究データ基盤整備に関わる懇談会の開催 (2022/8/9) (資料-13, 14)

北本理事から報告があった。研究におけるオープンデータ、データ駆動型研究とデジタルアーカイブ学会との連携について考えるために開催。第 2 回は 10 月 21 日に開催予定。

(8) その他

DA ベーシックスの新シリーズ第 1 巻が 10 月発刊の予定。

(3) 第 3 回理事会

・日時：2023 年 2 月 1 日 (水) 16:00~18:00

・形式：Zoom 開催

・出席：(五十音順)

吉見(会長)

理事：荒木、生貝、井上、大向、加藤、北本、黒橋、柴野、平良、高野、谷川、時実、林、原田、細井、福井、福島、宮本、柳、山川、吉川、渡邊、計 22 名

監事：欠席

オブザーバ：緒方

・議題

(研究大会実施について)

[承認事項]

(1) 2022 年度中間決算報告と、予算修正案および 2023 年度事業計画案、予算案の承認

・柴野財務担当理事より、説明があった。2022 年度決算見込みについては、会費収入はあまり変動がなく、広告費の減収により、学会誌収入が減少した。なお、予算については、当初想定していなかった費目として「エクスカッション参加費」「エクスカッション費用」「決算処理費用」(Peatix を利用したため)を新設したい。また、デジタルアーカイブ憲章のシンポジウムが開催されるので「シンポジウム費用」として 500,000 円を計上させていただきたい。

・柳総務担当理事から 2023 年度事業計画の説明があった。特筆すべきは、デジタルアーカイブ憲章の制定と企画、政策提言の具現化がある。

・福井理事から、デジタルアーカイブ憲章制定と政策提言について今後の予定について補足説明があった。

・2022 年度予算修正案、2023 年度事業計画案、2023 年度予算案が承認された。

(2) 2023 年度通信総会と会員懇談会の実施

・時実事務局担当理事から説明があり、承認された。

(3) 技術部会から技術普及部会への改編及び新規 SIG の設置

・柳総務担当理事から「技術部会」を「技術普及部会」に再編する、また、SIG「デジタルアーカイブとオープンサイエンス研究会(略称 DAOS)」を設置することの提案があり、承認された。

(4) 学会誌編集委員会委員の指名と退任

・杉本編集委員長が欠席のため、時実理事から編集委員の新任、池内有為(文教大学文学部英米語英米文学科准教授)、櫛彩見(岐阜女子大学文化創造学部准教授)、植村八潮(専修大学文学部教授)、江上敏哲(国際日本文化研究センター)、大高崇(NHK 放送文化研究所)、柴野京子(上智大学文学部新聞学科教授)、退任が坂井知志(日本デジタル・アーキビスト資格認定機構)と三宅茜巳(岐阜女子大学)の提案があり、承認された。

(5) 会員入退会の承認

・時実理事から説明があり、承認された。

(6) 第 8 回研究大会開催方針案の承認

- ・吉見会長より、第 8 回研究大会を金沢で開催することを提案するに至った経緯の説明があった。
- ・柳理事より、2023 年 11 月 10 日(金)(石川県立図書館)、11 日(土)(石川県立音楽堂交流ホール、ほか)、12 日(日)(エクスカッション)の日程とし、また、石川県の後援をいただきたい(内諾済み)旨の説明があり、日程案について承認された。

[報告事項]

(1) 第 2 回理事懇談会の報告

柳理事から報告があった。

(2) 第 7 回研究大会(沖縄)実施報告

- ・時実理事より資料にもとづいて簡単な説明があった。
- ・平良理事より、これをきっかけに沖縄の関係者で集まって議論しようという機運が起きているとの報告があった。

(3) 会員現況報告

・時実理事より報告があった。

(4) 学会誌発行計画

・時実理事より当面の学会誌企画について報告があった。

(4) 委員会・部会・SIG・関西支部活動状況

地域アーカイブ部会(宮本理事)、人材養成委員会(井上理事)、法制度部会(福井理事)、産業部会(黒橋理事)、SIG 理論研究会(柳理事、加藤理事)、DA フォーラム運営委員会(藤田理事、加藤理事、時実理事)から報告があった。

(5) 評議員会について

生貝理事より、第 6 回評議員会を年度内に実施するとの報告があった。

(4) 第 1 回理事懇談会

- ・日時：2022 年 4 月 4 日(月) 10:00~12:00
- ・形式：Zoom 開催
- ・出席：(五十音順)

吉見(会長)

理事：吉見会長、荒木、生貝、井上、今村、大向、加藤、北本、黒橋、坂井、柴野、杉本、時実、林、原田、福井、福島、藤田、細井、水島、宮本、柳、山川、吉川、渡邊

オブザーバ：緒方(DAPCON 事務局長)、真喜屋力(研究大会実行委員長)、平良斗星(研究大会実行副委員長)

・議題

[検討事項]

- (1) 学会誌「長尾先生特集号」配布先(時実)
- (2) 第 7 回研究大会(沖縄)の準備状況等(宮本・水島)
- (3) 産業部会主催「DA ショートトーク/産業のシーズを見つけよう！」定例開催(月 1 回)(黒橋)
- (4) その他

[討議事項]

- (1) デジタルアーキビスト国家資格化について(井上)
- (2) デジタルアーカイブ憲章(案)及び政策提言(案)(福井)

(5) 第 2 回理事懇談会

- ・日時：2023 年 1 月 11 日(水) 10:00~12:00
- ・形式：Zoom 開催
- ・出席：(五十音順)

吉見(会長)

理事：荒木、生貝、井上、加藤、北本、柴野、杉本、高野、谷川、時実、林、東、福井、藤田、細井、水島、宮本、柳、山川、吉川

オブザーバ：なし

[協議事項]

- (1) 現役員の任期について
- (2) 2023・2024 年度(第 4 期)の役員人事及び部会の改編について
- (3) 2023 年度第 8 回研究大会の開催時期及び場所

(4) 次回理事懇談会のテーマについて
[報告事項]

- (1) 第 7 回沖縄研究大会の実施概要とレビュー（平良・時実）
- (2) 「デジタルアーカイブ・ベーシックス」第 2 期第 1 巻『知識インフラの再設計』刊行（2022 年 11 月 25 日）と今後の予定（柳）
- (3) 「デジタルアーカイブ憲章」の検討状況（福井）
- (4) 「政策提言」の今後の扱い（柳）
- (5) 各部会等の動き
- (6) その他

(6) メール審議

- 2022 年 4 月 10 日: 「日本アーカイブズ学会 2022 年度大会」の後援をすることを承認
- 2022 年 5 月 10 日: 「政策提言臨時検討委員会」を設置することを承認。
- 2022 年 5 月 23 日: 「アート・ドキュメンテーション学会年次大会」の後援をすることを承認。
- 2022 年 6 月 23 日: 「Code4Lib JAPAN カンファレンス 2022」の後援をすることを承認。
- 2022 年 7 月 5 日: 「8K 特別上映『こまつ座 2022 年 7 月上演「紙屋町さくらホテル」～井上ひさしの代表作を 8K 大画面で観劇＋ライブトーク～』」を研究大会のプレイベントとして後援することを承認
- 2022 年 9 月 8 日: 「じんもんこん 2022」の後援をすることを承認。
- 2022 年 9 月 8 日: 2020 年 10 月 1 日より、正会員半期会員の募集をすることを承認。
- 2022 年 10 月 24 日: 「デジタルアーカイブ in 岐阜」(2023/2/11)の後援をすることを承認
- 2022 年 10 月 26 日: 「港区デジタルアーカイブ活用コンペ」の後援をすることを承認。
- 2022 年 11 月 7 日: 「川崎市教育委員会デジタルアーカイブ制作講座」(2022/12/3, 10, 17)の後援をすることを承認。
- 2022 年 11 月 14 日: 「令和 4 年度東日本大震災アーカイブシンポジウム」(2023/1/9)の後援をすることを承認。
- 2022 年 11 月 30 日: 「第 27 回 情報知識学フォーラム「人文学テキストを通じた研究データ共有」」(2022/12/18)の後援をすることを承認。
- 2022 年 11 月 14 日: 「令和 4 年度東日本大震災アーカイブシンポジウム」(2023/1/9)の後援をすることを承認。

10.3 第 5 回評議員会

日時: 2022 年 4 月 18 日(月) 10:00 ~ 12:00

形式: 遠隔 (Zoom)

出席者: (五十音順)

評議員: 大西亘、久世均、桑川麻里生、城田晴栄、数藤雅彦、砂川浩慶、田山健二、筒井弥生、徳原直子、藤森純、細矢剛、前川道博、又吉斎、町英朋、松岡資明、松山ひとみ、真鍋真、三宅茜巳

理事: 生貝、吉見、時実、福井、水島

[議事]

- (1) 生貝理事より DA フォーラムの開催、投稿規程の改定、日本学術会議協力学術研究団体指定、その他の活動について現況の報告があった。
- (2) 作成中のデジタルアーカイブ憲章について福井理事から説明があり、これについて議論がおこなわれた。

10.4 学会誌編集委員会

[委員] (所属は 2023 年 3 月末現在)

委員長 杉本 重雄 (筑波大学名誉教授)

副委員長

井上 透 (岐阜女子大学デジタルアーカイブ研究所)、時実 象一 (東京大学大学院情報学環)、

宮本 聖二 (立教大学大学院)、渡邊 英徳 (東京大学大学院)

委員

生貝 直人 (一橋大学)、池内 有為 (文教大学文学部英米語英米文学科)、櫛 彩見 (岐阜女子大学文化創造学部准教授)、今村 文彦 (東北大学・災害科学国際研究所)、植村 八潮 (専修大学 文学部ジャーナリズム学科)、江上 敏哲 (国際日本文化研究センター)、大高 崇 (NHK 放送文化研究所)、大西 亘 (神奈川県立生命の星・地球博物館)、大向 一輝 (東京大学・大学院人文社会系研究科)、岡室 美奈子 (早稲田大学・坪内博士記念演劇博物館)、

菊池 信彦 (国文学研究資料館)、古賀 崇 (天理大学)、後藤 真 (国立歴史民俗博物館)、齊藤 有里加 (東京農工大学科学博物館)、坂田 邦子 (東北大学・大学院情報科学研究科)、柴野 京子 (上智大学)、柴山 明寛 (東北大学・災害科学国際研究所)、高久 雅生 (筑波大学・図書館情報メディア系)、高野 明彦 (国立情報学研究所)、谷 里佐 (岐阜女子大学)、田良島 哲 (東京国立博物館 特任研究員)、中村 覚 (東京大学・情報基盤センター)、原田 隆史 (同志社大学・大学院総合政策科学研究科)、林 和弘 (文部科学省・科学技術・学術政策研究所)、細井 浩一 (立命館大学・映像情報学部)、宮本 隆史 (大阪大学・大学院人文学研究科)、吉賀 夏子 (佐賀大学・地域学歴史文化研究センター)

会議名	日時	場所	議題
2022 年度第 1 回 編集幹事会	2022/4/6 (水) 16:00~17:00	オンライン	1. 特集企画について 2. 編集委員会の開催について 3. 幹事会の運営について 4. 編集委員長、副委員長の任期について
2022 年度第 2 回 編集幹事会	2022/6/8 (水) 10:00~11:00	オンライン	1. 特集企画について 2. 編集委員会の開催について 3. 幹事会の運営について
2022 年度第 3 回 編集委員会	2022/7/6 (水) 10:00~11:00	オンライン	1. 委員長、副委員長の任期について 2. 編集委員会幹事会の構成について 3. 編集委員会委員の構成について 4. 特集の計画
2022 年度第 3 回 編集幹事会	2023/1/4 (水) 14:00~15:00	オンライン	1. 新任編集委員の推薦と退任について 2. 編集委員会幹事会の構成について 3. 第 2 回編集委員会の開催について
2022 年度第 2 回 編集委員会	2022/3/7 (火) 14:00~15:45	オンライン	1. 第 1 回編集委員会以降の報告 2. 編集委員会の構成について 3. 学会誌活性化のための意見交換

10.5 研究大会実行委員会

(1) 第 7 回研究大会実行委員会

[委員]

委員長 真喜屋 力 (沖縄アーカイブ研究所)

副委員長 平良 斗星 (公益財団法人みらいファンド沖縄)

委員

加治工 尚子 (岐阜女子大沖縄サテライト校)、時実 象一 (東京大学大学院情報学環)、深谷 慎平 (沖縄デジタルアーカイブ協議会)、又吉 斎 (沖縄女子短期大学)、水島 久光 (東海大学文化社会学部)、宮本 聖二 (立教大学)、柳 与志夫 (東京大学大学院情報学環)

会議名	日時	場所	議題
第 2 回実行委員会	2022/4/13 (水) 10:00~11:00	オンライン	1. 会場について 2. セッション企画について 3. 現地実行委員の追加について 4. 学会誌沖縄特集について (2023 年 5 月号予定)
第 3 回実行委員会	2022/6/1 (水) 10:00~11:00	オンライン	1. 企画セッションと会場について 2. 現地実行委員の追加について 3. チュートリアルについて 4. 参加費について
第 4 回実行委員会	2022/6/20 (月) 10:00~11:30	オンライン	1. 会場について 2. 沖縄企画について 3. 予算について
第 5 回実行委員会	2022/7/19 (火) 14:00~15:00	オンライン	1. 時間割と会場について 2. 沖縄企画について 3. エクスカーションについて

			4. チュートリアルについて 5. EPAD プレイメントについて
第 6 回実行委員会	2022/8/30 (火) 15:00～16:00	オンライン	1. 企画セッション会場とプログラムの見直し 2. 一般研究発表と全体会議の時間割について 3. 当日の運営体制について 4. 予算案について 5. DM について
第 7 回実行委員会	2022/11/7 (月) 19:00～20:00	オンライン	1. 準備状況・会場の確認と手配
第 8 回実行委員会	2022/12/8 (木) 18:00～19:00	オンライン	1. 開催概要の報告 2. 総括 3. 今後のフォローなど

(1) 第 8 回研究大会実行委員会

[委員]

委員長 青柳 正規 (石川県立美術館)

委員長代行 柳 与志夫 (東京大学大学院情報学環)

委員 (2023 年 3 月末現在)

井上奈智、太下 義之 (同志社大学)、大高 崇 (NHK 放送文化研究所)、緒方 靖弘 (デジタルアーカイブ推進コンソーシアム)、高田 良宏 (金沢大学)、田良島 哲 (東京国立博物館)、時実 象一 (東京大学大学院情報学環)、細井 浩一 (立命館大学)、堀井 洋 (AMANE)、前川 道博 (長野大学)、宮本 聖二 (立教大学)、渡邊 英徳 (東京大学大学院情報学環)

会議名	日時	場所	議題
第 1 回実行委員会	2023/3/10 (金) 9:30～11:00	オンライン	1. 委員長挨拶 2. 委員自己紹介 3. 研究大会開催方針承認 開催地石川県金沢市 開催日: 2023 年 11 月 10 日 (金)～12 日 (日) 4. プログラム骨子の承認 5. 実行委員会対象業務及び各委員分担確認 6. 企画セッション案承認 7. 応募発表審査小委員会の設置承認 8. 後援、協力、協賛等の要請について 9. その他

10.6 人材育成・活用検討委員会

[委員]

委員長 井上 透 (岐阜女子大学)

副委員長

福島 幸宏 (慶応義塾大学)

山川 道子 ((株) プロダクション・アイジー)

委員

坂井 知志 (日本デジタル・アーキビスト資格認定機構)、田山 健二 (TRC-ADEAC(株))、細矢 剛 (国立科学博物館)、藤森 純 (弁護士)、中村 覚 (東京大学史料編纂所)、久永 一郎 (大日本印刷株式会社)、江添 誠 (神奈川大学)

(1) 委員会

会議名	日時	場所	議題
第 8 回委員会	2022/5/12 (木) 19:00-20:00	オンライン	1. 「デジタルアーキビストの国家資格化について(案)」について
第 9 回委員会	2022/9/28 (水) 19:00-20:00	オンライン	1. 関連資格や他の国家資格について
第 10 回委員会	2023.1/30 (月) 19:00-20:00	オンライン	1. デジタルアーキビスト国家資格への検討
第 11 回委員会	2023/3/23 (木) 19:00-20:00	オンライン	1. デジタルアーキビスト国家資格への検討

(2) 第 7 回研究大会サテライト企画セッション「セッション 3. デジタルアーキビストを考える」

日時: 2022 年 11 月 20 日 (日) 15:00 ~ 17:00

開催場所: オンライン

参加申込者数: 168 名

10.7 学会賞選考委員会・作業部会**[選考委員会]**

青柳 正規 (東京大学名誉教授・デジタルアーカイブ推進コンソーシアム会長)

長尾 真 (デジタルアーカイブ学会会長: 委員長) (2021 年 5 月逝去)

御厨 貴 (東京大学名誉教授・ひょうご震災記念 21 世紀研究機構研究戦略センター長)

吉羽 治 (講談社取締役)

吉見 俊哉 (東京大学情報学環教授・デジタルアーカイブ学会会長代行: 作業部会長)

[作業部会]

生貝 直人 (理事、法制度副部会長)、井上 透 (理事、人材養成部会長)、嘉村 哲郎、亀田 堯宙、北本 朝展 (理事)、坂井 知志 (理事、コミュニティアーカイブ部会長)、高野 明彦 (理事、技術部会長)、時実 象一 (理事、学会誌副編集長)、永崎 研宣、長丁 光則 (デジタルアーカイブ推進コンソーシアム事務局長、評議員)、原田 隆史 (理事、関西支部長)、福島 幸宏 (理事)、柳 与志夫 (理事、総務担当)、吉見 俊哉 (東京大学情報学環教授・デジタルアーカイブ学会会長代行: 作業部会長)

本年度選考委員会・作業部会の開催はなかった。

10.8 会員ウェブ懇談会

日時: 2022 年 7 月 5 日 (火) 18:30~20:30

方法: Zoom を用いたウェブ懇談会

・テーマ:

デジタルアーカイブ憲章について

意見交換 (テーマ定めず)

・参加申込者数: 50 名

・実参加者数: 35 名 (ピーク時) 参加者: 26 名

11. 各種活動**11.1 定例研究会**

本年度は定例研究会は開催されなかった。

11.2 部会等**11.2.1 法制度部会****(1) 部会例会**

第 44 回 2022/4/21 動向共有、法律相談、肖像権、個人情報保護法、メディア展開、デジタル著作権、法制化支援他

第 45 回 2022/5/27 動向共有、法律相談、メディア展開、デジタル著作権、法制化支援、肖像権、個人情報

報保護法他

第 46 回 2022/6/24 動向共有、法律相談、メディア展開、デジタル著作権、法制化支援、肖像権、個人情報保護法他

第 47 回 2022/7/19 動向共有、法制化支援 WG、メディア展開、肖像権、個人情報保護法、デジタル著作権他

第 48 回 2022/8/22 動向共有、メディア展開、肖像権、個人情報保護法、デジタル著作権、法制化支援他

第 49 回 2022/9/20 動向共有、メディア展開、肖像権、個人情報保護法、デジタル著作権、お笑い、法律相談、法制化支援他

第 50 回 2022/10/18 動向共有、メディア展開、肖像権、個人情報保護法、デジタル著作権、法制化支援他

第 51 回 2022/11/17 動向共有、メディア展開、肖像権、個人情報保護法、デジタル著作権、法律相談、法制化支援他

第 52 回 2022/12/15 動向共有、メディア展開、肖像権、個人情報保護法、デジタル著作権、法律相談、法制化支援他

第 53 回 2023/1/16 動向共有、肖像権、個人情報保護法、お笑い、デジタル著作権、法律相談、法制化支援他

第 54 回 2023/2/14 動向共有、肖像権、個人情報保護法、デジタル著作権、法律相談、法制化支援 + メディア展開他、お笑い他

第 55 回 2023/3/9 動向共有、肖像権、個人情報保護法、デジタル著作権、法律相談、法制化支援 + メディア展開他

(2) 第 1 回「デジタルアーカイブ憲章をみんなで創る円卓会議」

- ・日時: 2022 年 8 月 3 日(水) 18:00 ~ 20:30
- ・形式: オンライン開催、YouTube 同時・アーカイブ配信
- ・詳細は別掲

(3) 第 2 回「デジタルアーカイブ憲章をみんなで創る円卓会議」

- ・日時: 2022 年 10 月 11 日(火) 18:00 ~ 20:30
- ・形式: オンライン開催
- ・詳細は別掲

(4) 第 7 回研究大会企画セッション「4. デジタルアーカイブ憲章をみんなで創る円卓会議 in 沖縄」

- ・日時: 2022 年 11 月 26 日(土) 10:00 ~ 12:00
- ・形式: 琉球大学 50 周年記念館 (Zoom 同時配信あり)
- ・詳細は別掲

(5) 第 7 回研究大会チュートリアル「チュートリアル 3. デジタルアーカイブの法と権利」

- ・日時: 2022 年 11 月 25 日(金) 10:00 ~ 12:00
- ・形式: 琉球大学 50 周年記念館
- ・講師: 前田拓郎 (弁護士 前田拓郎法律事務所)
- ・参加申込者: 24 名

(6) シンポジウム「デジタルアーカイブが拓く日本の社会・文化芸術の未来」

- ・日時: 2022 年 12 月 5 日(月) 14:00 ~ 16:00
- ・場所: 参議院議員会館内 講堂
- ・登壇者:

草刈民代氏 (俳優、元バレリーナ)

大島 新氏 (映画監督・プロデューサー、元テレビディレクター)

吉見俊哉 (東京大学大学院教授・デジタルアーカイブ学会会長)

福井健策 (弁護士・デジタルアーカイブ学会法制度部会 部会長)

(進行) 内田朋子 (共同通信社・デジタルアーカイブ学会会員)

- ・来賓ご挨拶 山田太郎参議院議員、赤松健参議院議員
- ・討議
- ・裁判記録の破棄が引き起した問題の深刻さ。「少年 A」事件の事例から考える

- ・ 諸外国のアーカイブの在り方について 政治・社会・文化政策との関連性
- ・ デジタルアーカイブ構築によって期待される文化芸術、エンタテインメントへの効果
- ・ 著作権処理などをめぐる実務と変わる法制度、メディア・政・官界の「意識」の課題
- ・ 次世代への文化継承の責任と、社会にとっての「記憶する権利」
- ・ 参加申込者: xx 名

(7) デジタルアーカイブに関する無料法律相談会 (会員向け)

- ・ 募集期間: 2022 年 11 月 16 日～ 11 月 30 日
- ・ 実施方法: Zoom を用いたオンラインによる相談

(8) 「デジタルアーカイブ憲章 みんなで創る総括シンポジウム～デジタルアーカイブの哲学を社会に実装する～」

- ・ 日時: 2023 年 3 月 14 日(火) 19:00～ 21:00
- ・ 場所: 御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター ルーム C (YouTube による配信あり)
- ・ 詳細は別掲

(9) 「デジタルアーカイブ憲章(最終案)」に対する意見募集(パブリックコメント)

- ・ 期間: 2023 年 2 月 15 日(水)～ 2 月 28 日(火)
- ・ 方法: ウェブフォームによる募集

10. 2. 2 技術部会

今期はイベント、部会会合はなかった。

11. 2. 3 地域アーカイブ部会

(1) 打合せ

- ・ 拡大会議 2022/9/27 (火) オンライン開催 地域アーカイブ部会のメンバーについて、沖縄研究大会について、研究会の提案について、地域の DA のためのツールボックスなど、事務局体制について
- ・ 第 2 回 2022/10/25 (火) オンライン開催 「藤本蚕業歴史館で学ぶデジタルアーキビスト養成リスク/リカレント講座」について、地域アーカイブ・カルテ案 Ver.1.0 について、沖縄研究大会について、研究会の提案
- ・ 第 3 回 2023/1/20 (金) オンライン開催 昨年後半からの取り組みについて、今後の研究会の案、研究会や活動についてのご提案、デジタルアーカイブのカルテの推進について、その他新年度の活動について

(2) シリーズ研究会: 地域とデジタルアーカイブ: デジタル映像データを共有化するためにー「石山与五栄門展」における新たなキュレーションをめぐってー3

- ・ 日時 2022 年 11 月 11 日(金)
- ・ 形式: オンライン開催

(3) シリーズ研究会: 「藤本蚕業歴史館で学ぶデジタルアーキビスト養成リスク/リカレント講座」

- ・ 日時 2022 年 12 月 10 日(土)、2022 年 12 月 17 日(土)、2023 年 1 月 14 日(土)
- ・ 形式: オンライン開催

(4) シリーズ研究会: 「地域から発掘されるフィルム」～どう見つけ、確認し、デジタル化、共有、保管するか

- ・ 日時 2023 年 3 月 17 日(金)
- ・ 形式: オンライン開催
- ・ 登壇者:
- ・ 水島久光(東海大学教授)
- ・ 真喜屋力(沖縄アーカイブ研究所)
- ・ 佐藤佑哉、大川功(聖学院高校)
- ・ 進行・担当: 宮本聖二 (地域アーカイブ部会部会長)

11.2.4 産業とデータ・コンテンツ部会

(1) 打合せ

- 第 8 回 2022/6/28 オンライン DA ショートトーク次回プログラム、今後の開催日程
第 9 回 2022/7/29 オンライン DA ショートトーク次回プログラム
第 10 回 2022/8/26 オンライン DA ショートトーク次回プログラム
第 11 回 2022/9/30 オンライン DA ショートトーク次回プログラム
第 12 回 2021/11/19 オンライン DA ショートトーク次回プログラム
第 13 回 2022/3/4 オンライン DA ショートトーク次回プログラム
第 14 回 2022/3/23 オンライン DA ショートトーク次回プログラム、オフラインミーティングについて
第 15 回 2023/1/17 オンライン DA 産業部会の課題・方向性について
第 16 回 2023/2/27 オンライン DA ショートトーク次回プログラム
第 17 回 2023/3/27 オンライン DA ショートトーク次回プログラム

(2) 第 1 回 DA ショートトーク／産業のシーズを見つけよう！

- ・日時 2022 年 5 月 30 日(月) 10:00 ～ 12:00
- ・形式：Zoom 開催（参加申込者数:72 名）
- ・プログラム

司会：柴野京子氏（産業とデータ・コンテンツ副部会長）

1. 「知識はわれらを豊かにする」黒橋禎夫氏（産業とデータ・コンテンツ部会長）
2. 「文化産業のデジタル化からみた DA 論」後藤和子氏（摂南大学）
3. 「映像コンテンツの DA によるエコシステムの取組み」緒方靖弘氏（デジタルアーカイブ推進コンソーシアム（DAPCON）事務局長、産業とデータ・コンテンツ副部会長）
4. 「文化財 VR・デジタルアーカイブの取組みについて」植山秀治氏（凸版印刷株式会社）
5. 「マンガの機械翻訳と言語教育への活用」石渡祥之佑氏（Mantra 株式会社 Co-Founder & CEO）
6. 「コンテンツ産業としての弊社の未来戦略と、それを実現するための取組み～OUR MISSION コンテンツソリューションで顧客と社会の未来をつくる OUR VISION 顧客と社会の成長を支援する情報価値プロデュース企業～」能登健太郎氏（能登印刷代表取締役）

総合討論・意見交換

(3) 第 2 回 DA ショートトーク／産業のシーズを見つけよう！

- ・日時 2022 年 6 月 27 日(月) 10:00 ～ 12:00
- ・形式：Zoom 開催（参加申込者数: 65 名）
- ・プログラム

司会：黒橋禎夫産業とデータ・コンテンツ部会長

1. 「DA の 23 問題」柳与志夫氏（東京大学大学院情報学環 講談社・メディアドゥ新しい本寄付講座）
2. 「地域資料 DA と教育現場での活用（仮）」太田亮子氏（TRC-ADEAC 株式会社 営業部）
3. 「機械学習による線画変換技術」Edgar Simo-Serra 氏（早稲田大学理工学術院）
4. 「パブリック・ヒストリーと DA」菊池信彦氏（国文学研究資料館 古典籍データ駆動研究センター）
5. 「出版、デジタル、アーカイブ」柴野京子氏（上智大学、産業とデータ・コンテンツ副部会長）
6. 「メディア芸術ナショナルセンター法案（MANGA ナショナルセンター整備運営法案）」小山紘一氏（山田太郎デジタル大臣政務官 政策担当秘書 骨董通り法律事務所 弁護士）

総合討論・意見交換

(4) 第 3 回 DA ショートトーク／産業のシーズを見つけよう！

- ・日時 2022 年 7 月 25 日(月) 10:00 ～ 12:00
- ・形式：Zoom 開催（参加申込者数:72 名）
- ・プログラム

司会：緒方靖弘氏（デジタルアーカイブ推進コンソーシアム（DAPCON）事務局長、産業とデータ・コンテンツ副部会長）

1. 自発的学びを育むデジタル読書環境」高野明彦氏（国立情報学研究所 名誉教授）
2. 「大規模デジタルアーカイブ基盤」荒木純隆氏（長野県 企画振興部 DX 推進課 デジタルインフラ整備室）
3. 「近代書籍対応 OCR の開発」神田武氏（㈱モルフォ AI ソリューションズ代表取締役）

4. 「オープンデータ利活用のためのデータ検索エンジン」加藤誠氏（筑波大学図書館情報メディア系）
 5. 「デジタル世界の可能性を拡大～データを“繋ぐ” ブロックチェーン技術～」関屋元義氏（富士通株式会社 富士通研究所 データ&セキュリティ研究所 シニアディレクター）
 6. 「脚本アーカイブから」石橋映里氏（日本脚本アーカイブズ推進コンソーシアム常務理事）
- 総合討論・意見交換

(5) 第 4 回 DA ショートトーク／産業のシーズを見つけよう！

- ・日時 2022 年 8 月 23 日(火) 13:00～15:00
- ・形式：Zoom 開催（参加申込者数：65 名）
- ・プログラム

司会：荒木純隆氏（長野県 企画振興部 DX 推進課 デジタルインフラ整備室、デジタルアーカイブ学会産業とデータ・コンテンツ副会長）

1. 「自治体史の世界」福島幸宏氏（慶應義塾大学 文学部/ 東京大学 大学院情報学環）
 2. 「電子書籍流通の現状とメディアドゥ」桑原大氏（(株)メディアドゥ 経営企画室）
 3. 「ポーラ文化研究所の文化資産とデジタル展開」川上 博子氏（ポーラ文化研究所）
 4. 「アニメ中間素材のデジタル・アーカイブ化について」キム・ジュニアン氏（新潟大学経済科学部学学際日本学プログラム/新潟大学アニメ・アーカイブ研究センター共同代表）[共同研究] 石田美紀氏（新潟大学）・今井博英氏（新潟大学）
 5. 「映像要約」井手一郎氏（名古屋大学 大学院情報学研究科 教授 [兼] 名古屋大学 数理・データ科学教育研究センター 教授）
 6. 「広告データ会社が取り組む「地方自治体向け」人を動かす“デジタルアーカイブ”事業のご紹介」伊藤 晃洋氏（エム・アール・エス広告調査株式会社）
- 総合討論・意見交換

(6) 第 5 回 DA ショートトーク／産業のシーズを見つけよう！

- ・日時 2022 年 9 月 27 日(火) 13:00～15:00
- ・形式：Zoom 開催（参加申込者数：65 名）
- ・プログラム

司会：黒橋禎夫氏（京都大学、デジタルアーカイブ学会産業とデータ・コンテンツ部会長）

1. 「オープンサイエンス政策の狙いと学術情報流通産業の構造転換」林和弘氏（文部科学省科学技術・学術政策研究所 データ解析政策研究室長）
 2. 「講談社の電子書籍事業の概況とアーカイブ作品活用の取り組み」藤井喜久氏（株式会社講談社 販売局 デジタル第二営業部）
 3. 「講談社「人物資料」収集と専修大学「現代人物アーカイブズ」としての再構築」植村八潮（専修大学）[共同研究] 小塚昌弘氏（読書推進運動協議会）、山田健太氏（専修大学）、野口武悟氏（専修大学）
 4. 「音楽業界インフラとしての『ピアノ曲事典』」実方康介氏（一般社団法人全日本ピアノ指導者協会（ピティナ））
 5. 「NFT アートの可能性」刃屋早百合氏（(株)野村総合研究所 ICTメディアコンサルティング部）
 6. 「図書館と著作権法をめぐる課題 -最近の著作権法改正との関連を中心に-」村井麻衣子氏（筑波大学 図書館情報メディア系）
- 総合討論・意見交換

(7) 第 6 回 DA ショートトーク／産業のシーズを見つけよう！

- ・日時 2022 年 10 月 25 日(月) 13:00～15:00
- ・形式：Zoom 開催（参加申込者数：100 名）
- ・プログラム

司会：柴野京子氏（上智大学、デジタルアーカイブ学会産業とデータ・コンテンツ副会長）

- ・「公文書管理とデジタル化」加藤諭氏（東北大学）
- ・「テキスト分析を用いたデジタルアーカイブ産業マップ検討の報告」神崎正英氏（ゼノン・リミテッド・パートナーズ）
- ・「ネットの信頼性～アテンションエコノミーとリテラシー向上～」宮本聖二氏（ヤフー株式会社メディア統括本部/立教大学大学院）
- ・「ダンスアーカイヴ構想の活動について」溝端俊夫氏（NPO 法人ダンスアーカイヴ構想）

- ・「自然言語処理を用いた文献の可視化・検索」森信介氏（京都大学学術情報メディアセンター/株式会社 Linfer）
- ・「デジタルアーカイブとミュージアム DX に関連した政策的事業」田良島哲氏（東京国立博物館 特任研究員）
- ・総合討論・意見交換

(8) 第 7 回 DA ショートトーク／産業のシーズを見つけよう！

- ・日時 2022 年 11 月 22 日(火) 13:00 ～ 15:00
 - ・形式：Zoom 開催（参加申込者数 46 名）
 - ・プログラム
- 司会：緒方靖弘氏（デジタルアーカイブ推進コンソーシアム（DAPCON）事務局長、デジタルアーカイブ学会産業とデータ・コンテンツ副部会長）
- ・「ゲームアーカイブの現状と課題」細井 浩一氏（立命館大学映像学部、立命館大学 アート・リサーチセンター、立命館大学 ゲーム研究センター）
 - ・「演劇博物館のデジタルアーカイブの取組み」中西 智範氏（早稲田大学坪内博士記念演劇博物館 デジタルアーカイブ室・写真室）
 - ・「建築のデジタルアーカイブについて考える」松本 隆史氏（清水建設株式会社技術研究所）
 - ・「動画データの長期保存用ファイルフォーマットについて」三浦和己氏（国立映画アーカイブ）
 - ・「Web3 基盤におけるデジタルコンテンツ流通と価値の創出」嘉村哲郎氏（東京芸術大学 芸術情報センター）
 - ・「日本のアニメーション総合データベース「アニメ大全」」植野淳子氏（一般社団法人日本動画協会『アニメ NEXT_100』事務局長, 株式会社 アイメージ）
 - ・総合討論・意見交換

(9) 第 8 回 DA ショートトーク／産業のシーズを見つけよう！

- ・日時 2022 年 12 月 23 日(金) 13:00 ～ 15:00
 - ・形式：Zoom 開催（参加申込者数:64 名）
 - ・プログラム
- 司会：荒木 純隆氏（長野県 企画振興部 DX 推進課 デジタルインフラ整備室、デジタルアーカイブ学会産業とデータ・コンテンツ副部会長）
- ・「ウクライナ衛星画像マップ」渡邊 英徳氏（東京大学）
 - ・「言語生成技術」高村 大也氏（産業技術総合研究所人工知能研究センター）
 - ・「デジタル・アーカイブを起点にコミュニティを作る：慶應義塾ミュージアム・コモنزの試みから」本間 友氏（慶應義塾ミュージアム・コモنز）
 - ・「デジタルアーカイブ用ストレージ媒体としての SSD」竹島 秀治氏（Verbatim Japan 株式会社 代表取締役）
 - ・「ブックデザイン技術のデジタル化の歴史」阿部 卓也氏（愛知淑徳大学）
 - ・「森羅万象を音で表現～番組制作を支えるサウンドライブラリー」菊地 亮氏（NHK メディア総局 デザインセンター）
 - ・総合討論・意見交換

(10) 第 9 回 DA ショートトーク／産業のシーズを見つけよう！

- ・日時 2023 年 1 月 27 日(金) 13:00 ～ 15:00
 - ・形式：Zoom 開催（参加申込者数:106 名）
 - ・プログラム
- 司会：黒橋禎夫氏（京都大学、デジタルアーカイブ学会産業とデータ・コンテンツ部会長）
- ・「IIIF Curation Platform：画像を収集して新たなコンテンツを創出する OSS 基盤」北本 朝展氏（情報・システム研究機構 データサイエンス共同利用基盤施設 人文学オープンデータ共同利用センター センター長、国立情報学研究所 教授）
 - ・「地球の歩き方旅行記データセット - 文章中の人物の移動軌跡を実世界の地図上に接地する -」大内啓樹氏（奈良先端科学技術大学院大学）
 - ・「ミュージアムのデジタルアーカイブを支えるクラウドサービス I.B.MUSEUM SaaS」内田剛史氏（早稲田システム開発株式会社）

- ・「アーカイブ映像の活用事例：沖縄テレビ」山里孫存氏（沖縄テレビ放送）
- ・「専門領域のデジタルコンテンツ配信サービス」江草貞治氏（有斐閣）
- ・「大河ドラマから生まれた！“デジタル障壁画”の秘密」内藤敦子氏（NHK メディア総局 デザインセンター）
- ・総合討論・意見交換

(11) 第 10 回 DA ショートトーク／産業のシーズを見つけよう！

- ・日時 2023 年 2 月 24 日(金) 13:00～15:00
- ・形式：Zoom 開催（参加申込者数 53 名）
- ・プログラム

司会：緒方靖弘氏（デジタルアーカイブ推進コンソーシアム（DAPCON）事務局長、デジタルアーカイブ学会産業とデータ・コンテンツ副会長）

・「スマートシティとデジタルアーカイブ～ Re:Earth を事例に～」田村賢哉氏（株式会社 Eukarya 代表取締役 CEO）

- ・「文化・アートのアーカイブ化及び利活用の取組」室田秀樹氏（大日本印刷株式会社）
- ・「メタ観光と DA」玉置泰紀氏（（社）メタ観光推進機構理事・(株) KADOKAWA エグゼクティブプロデューサー）
- ・「デジタルアーカイブと親和性の高いハードディスク瓦記録方式」濱口雄彦氏（ウェスタンデジタルテクノロジーズ合同会社）
- ・「信州大学が取り組む災害デジタルアーカイブ 特徴とその利活用」廣内大助氏・内山琴絵氏（信州大学教育学部）
- ・「まちづくりとデジタルコミュニティアーカイブ」真鍋陸太郎氏（東京大学 大学院工学系研究科, 東京大学 大学総合教育研究センター）
- ・総合討論・意見交換

(12) 第 11 回 DA ショートトーク／産業のシーズを見つけよう！

- ・日時 2023 年 3 月 24 日(金) 13:00～15:00
- ・形式：Zoom 開催（参加申込者数:48 名）
- ・プログラム

司会：柴野京子氏（上智大学、デジタルアーカイブ学会産業とデータ・コンテンツ副会長）

- ・「デジタルアーカイブと AR 技術」谷川 智洋氏（東京大学次世代人工知能科学研究センター）
- ・「「デジタルアーカイブ概論」の刊行とその活用について」 福島幸宏氏（慶應義塾大学 文学部/ 東京大学 大学院情報学環）
- ・「改正博物館法および博物館 DX の推進に関する基本的な考え方」太下義之氏（文化政策研究者／同志社大学経済学部）
- ・「AI による翻訳・通訳」隅田英一郎氏（情報通信研究機構フェロー）
- ・「凡人に出来るゲームアーカイブと、その先の壁」松田 真氏（一般社団法人ゲーム寄贈協会 代表理事 松田特許事務所 代表弁理士）
- ・総合討論・意見交換

11.2.5 関西支部

今年度はイベント、支部会合はなかった。

11.3 SIG

11.3.1 SIG「デジタルアーカイブ理論研究会」

(1) 研究会

第 29 回研究会 2022/6/7 オンライン 『：デジタル時代のアーカイブ系譜学』序章・終章についてのディスカッション

第 30 回研究会 2023/1/13 東京大学本郷キャンパス情報学環本館 『デジタル時代のアーカイブ系譜学』書評会および次年度 SIG 方針について

(2) 第 7 回研究大会サテライト企画セッション「セッション 1. デジタル時代のアーカイブの系譜学」

- ・日時 2022 年 11 月 13 日 (日) 14:00 ~ 16:00
- ・形式: Zoom 開催
- ・内容
- ・加藤諭・宮本隆史「デジタル時代のアーカイブの諸系譜をたどるために」
- ・大向一輝「デジタルアーカイブの技術史」
- ・鈴木親彦「アーカイブの側面を持つ草の根活動」
- ・阿部卓也「アーカイブをメディアとして読み解く」
- ・西川開 (コメンテーター)

11. 3. 2 SIG 「デジタル化承諾書・契約書検討」研究会**(1) 打合せ**

第 3 回打合せ 2021/5/18 オンライン デジタルアーカイブ化のモデル承諾書の検討

(2) 第 6 回研究大会第 2 部サテライト・セッション「デジタルアーカイブのための「デジタル化承諾書・契約書」テンプレートを考える」

- ・日時 2021 年 10 月 11 日 (月) 18:00 ~ 19:30
 - ・形式: オンライン開催
 - ・参加申込者数: 106 名
 - ・構成および登壇者
- 趣旨説明(嘉村哲郎)
 ドラフトの解説(足立昌聰)
 簡易版に向けた検討(嘉村哲郎)
 ディスカッション

11. 後援等

NO	イベント名称	主催	開催日	場所	種別
1	日本アーカイブズ学会 2022 年度大会	日本アーカイブズ学会	2022/4/23-24	オンライン	後援
2	第 33 回 (2022 アート・ ドキュメンテーション学 会年次大会	アート・ドキュメンテ ーション学会	2022/6/11-12	慶應義塾大学三田 キャンパス、ハイ ブリッド	後援
3	Code4Lib JAPAN カンフ ァレンス 2022	Code4Lib JAPAN	2022/9/3-4	オンライン	後援
4	人文科学とコンピュータ シンポジウム (じんもん こん 2022)		2022/12/9-11	オンライン	後援
5	デジタルアーカイブ in 岐 阜	岐阜女子大学デジタル アーカイブ研究所	2023/2/11	オンライン	後援
6	港区デジタルアーカイブ 教育活用コンテスト	東京都港区教育委員会	2022/12/1- 2023/3/31	(作品募集)	後援
7	戦争の記憶を継承するワ ークショップ	川崎市教育委員	2022/12/3, 10, 17	川崎市幸市民館	後援
8	令和 4 年度東日本大震災 アーカイブシンポジウム	国立国会図書館及び東 北大学災害科学国際研 究所	2023/1/9	東北大学災害科学 国際研究所	後援
9	第 27 回情報知識学フォー ラム	情報知識学会	2022/12/18	国立情報学研究 所、ハイブリッド	後援

12. その他

12.1 事務所変更

「東京大学大学院情報学環 DNP 学術電子コンテンツ研究寄付講座」が 2021 年 10 月 31 日で終了したので、2022 年 4 月 1 日より事務所所在地が「東京大学大学院情報学環 講談社・メディアドゥ新しい本寄付講座」に変更された。

以上